



# 例会報告：2012年7月17日（曇）第1759回年初例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ❖ 会長挨拶

小嶋 章司 会長



皆様こんにちは  
熊本・大分・福岡など豪雨による甚大な被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。  
私が1996年に小田原城北RCに入れて頂いた時クラブの会長は鈴木友徳さんガバナー補佐（当時は分区代理）が湯河原の伊藤さん、ガバナーは大磯RCの河本親秀さんでした。入会してまもなく鈴木会長から例会の時呼ばれまして、君に河本ガバナーからメッセージが届いていますと渡されました。それは、ロータリーへようこそ！

国際ロータリー第2780地区では、あなたが小田原城北RCに入会され、私たちと共に、地域社会、国際社会への奉仕活動に参加されることを心より歓迎いたします。  
これからロータリーの多様な面を学び、ロータリーの世界を探索し、そして色々な奉仕活動に積極的に参加していかれることと存じます。あなたのクラブの皆さんに、いつでもお気軽に質問され、より早くロータリーを理解されることを心より望んでいます。あなたがロータリーの中で、様々なジャンルの人と知り合い親睦を深めながら、私たちの家族のため、地域社会のため、世界のため、明るい未来を築くために、共に力を合わせましょう。



この時のお礼をかねて先日河本さんとお会いしました。河本さんはもう時効だからいいでしょうと、私に見せてくれました。それは、ガバナー公式訪問報告書でした。  
会長 鈴木友徳 61才 「地元の名士で・・・」  
幹事 勝亦常隆 57才 「温厚で幹事役に適任・・・」  
そして、総合評価として優・良・可・不可・壊滅的クラブと書いてあって〇がつけてありました。優でした。河本ガバナーは当時60数クラブで優をつけたのは、7クラブだと言われました。

今年もガバナーの公式訪問がごございます。今でもこんな方法をとっているかどうか分かりませんが大変にうれしく励みになりました。  
ありがとうございました。

## ❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)国際ロータリー2570地区（埼玉）からの御協力のお願いです。埼玉ユネスコ協会を支援されているのですが、書き損じのはがき200枚でネパールの子供が1年間学校に通えるということで、ぜひご協力頂きたいという事でBOXを設置しますのでお願いします。  
2)出席向上のためにメーキャップの1つの方法としてEクラブというのがあります。どうしてもメーキャップが間に合わないという方はぜひこれを利用してください。

## ❖ 委員会報告

米山学友 地区委員 杉崎勝成委員

14日に学友の主催で片瀬江の島海岸にてクリーンキャンペーンがございました。それに私と小嶋会長と2人で参加させていただきました。出席者が120名位の大きな大会でした。

内容は地区関係者が15名、各クラブから50名、そして奨学生・学友同伴者が50名の多くの参加で多くのごみを拾うことができました。その後、皆でバーベキューをして懇親を深めることができました。

10月、米山のターゲットの時に誰か良い方がいないかと小嶋会長と探しまして、非常に良い子を探そうと出来ました。東大を出ているマレーシアの子で、その子にお願いしたら、良いですよということですので、これから時間調整等していこうと思います。

## ❖ 出席報告

柳井 涉 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月17日	49(46)	38	1	84.78%
7月10日	49(47)	38	1	82.98%
7月3日	49(49)	46	0	95.92%

【欠席者】 9名

菊地 義雄、一寸木 信雄、田代 博信、木村啓滋、小楠 雅昭  
内山 修一、上田 博和、阿部 一顯

【今回MU】 1名

菊地 義雄 (7/12 中RC)

【前回MU】 増加無し

【前々回MU】 増加1名

大谷 宏 (7/13 足柄RC)

## ❖ 卓話

「地域スポーツ」

湘南ベルマーレフットサルクラブ  
スーパーアドバイザー  
佐藤 信也様



まず湘南ベルマーレとは、どのようなクラブなのかという事を簡単に説明させていただきます。湘南ベルマーレはJリーグクラブとして誕生いたしました。昔は「藤和不動産サッカー部」という名前で発足され、株式会社フジタを母体とする、フジタサッカークラブとして活動を始めております。不況になり全日空を始め責任企業が撤退するようになり、フジタも湘南ベルマーレから撤退するという話になりました。その当時、ベルマーレ平塚というチーム名で平塚を母体に活動していたのですが、地域の方が自分の街にクラブチームが無くなってしまふのは非常に残念だと、何とかありませんかということで立ち上がって頂き、地域の方一人一人の株主構成でなんとか活動を続けている地域クラブです。

その時に一番お問い合わせがあった内容は、サッカーの選手は能力があれば違うチームに移籍し自分の活動場所は確保できるのですが、スクールのお子さんが明日からサッカーが出来なくなってしまうのでしょうか？どうなるのですか？という問い合わせが一番多く、何とかしなければならぬと思います、NPO法人を立ち上げ、現在スクール事業は非営利事業として活動させていただいております。



そのNPO法人はサッカーだけではなく、様々なスポーツを手掛けて、より多くの横のつながりを作りたいということで、総合型地域スポーツクラブという形で色々な競技をもってあります。

例えば、ソフトボールチーム、ビーチバレーチーム、トライアスロンチーム、そして2007年に立ち上がったのがフットサルです。湘南ベルマーレは、神奈川県内の7市3町をホームタウンとして活動しております。Jリーグクラブの中で地域名でなくエリア名で活動しているのは湘南ベルマーレだけです。そして総合型スポーツクラブとして最前線でやっているのはベルマーレが唯一のクラブです。

小田原アリーナは全国的にみてもフットサルを活用するのに素晴らしい施設で、2007年に小田原を選ばせていただきました。

フットサルの成り立ちの話ですが、フットサルは5人対5人で行います。ピッチの大きさはサッカーコートの約9分の1の大きさです。ベンチ入りは12人でサッカーと違い交代は何回でも自由です。現在全国でFリーグに10チームあります。

なぜ日本でフットサルが普及し始めているかというと、前回の南アフリカで開催されたワールドカップでスペインが圧倒的な強さで優勝しました。そのスペインのサッカーはパスを回して相手をほんろうして、ビューティフルサッカーと言われております。そういったパスサッカーを展開しているスペインが世界で一番強いのです。

なぜスペインが強いのかというと、スペインでは小学校まで全員フットサルをします。それは少人数で、狭い中で、とにかく基礎技術を学ぶのがサッカーの最先端の育成プログラムです。そのスペインのプログラムを日本でもまねて取り入れております。人口でいうとフットサル愛好者は400万人と言われております。2007年に小田原に来た時に地域の方の熱い部分を前面に押し出してくれる方と何人か出会い、フットサルをやるだけでなく、お祭りなんかに出なさい、そして地域の方と多く話しをして触れ合いなさいというアドバイスを頂き、なるべく多くのこの町のイベントに参加させていただきました。的確なご指導を頂いたお蔭で、少しずつですが広がりを見せました。



2008年には小田原の観光大使にして頂き、北海道で行われた試合で選手の入場の時に小田原ちようちんを持って出て行かせたりしました。  
今年、大きな流れがありました。それはフットサルのまち連絡ネットワークという組織が発足されました。このまちをフットサルの街にしようよという声があがり、色々な団体を巻き込んで何とか地域活性につながるかという活動が始まっております。この組織はフットサルを通じてこの小田原という地を全国、世界に発信する。商圏も2市8町で始まっております。国際大会を開催したい。まちの方たちが参加する大きな大会を開催したい。一番のメインはこのまちからサッカー、フットサルの日本代表選手を育てあげたい。そんな思いを持っていただいて活動を始めています。

今後湘南ベルマーレは地域活動をもっともっとやっていきたいと思っております。皆さんは色々な団体に所属されていると思いますが、そういったイベントに気軽に呼んで頂きたいなと思います。湘南ベルマーレは小田原で活動している、そしてまちのためにまちに愛されるクラブを目指しているということを知って頂いて、気軽に連絡いただければどんどん出て行きますので今後とも皆様と一緒にこのまちを盛り上げたいと思っておりますのでご支援の方よろしくお願いたします。

